

夕刊 暮成新聞 行發日五十二月五

隨筆二題 (上) 池雅實

○郷土 郷土に縁があるといふ、どんな

○黙深し 二人は、やがて樓門をく

講談

講談 中川雨之氏作

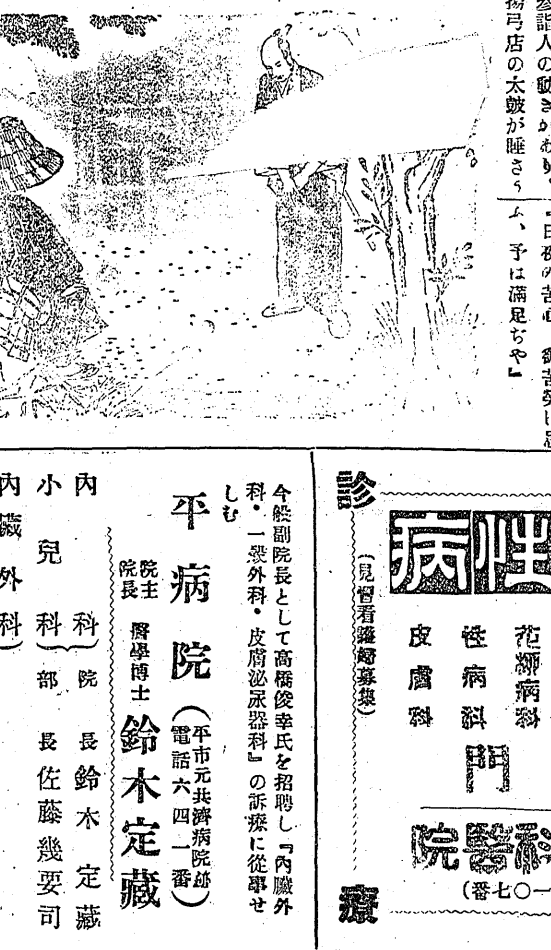
○歌の甘み 伊東生

伊東生 今も出て眼に見るもの

大東洋報 今般南の風雲

樹立の入口で見張るもする

「誰方ですか？」 「主人、伊豆守さまです」



講談 中川雨之氏作

沈んだ調の歌など質にも

平病院 (平市元其病院) 院長 鈴木定蔵

各種工具類 現在庫品

平屋賣店 靈峰羊羹

支那事變特別税で

一番の影響は左黨

平稅務署去月中の統計

支那事變が國民の負擔にどんな影響を及ぼして居るか、その地方的関係を最も確實に語る平稅務署管内去月中の物品特別税を見ると

第一種甲類(寶石、金、銀、珊瑚等)は價格五百七十八圓二十七錢の税額八十六圓六十七錢で流石先祖傳來の小判をばつたり折角入れた歯冠を外したる所謂金銀運動が全国的に沸き立つて居る當今の時節柄大した額では無い

大衆化は程遠い

平市と電話擴張案

平市の本年度架設電話が百未までは省内の意向を總時から平第三小學校講堂に七十餘の申請に對してその數ある管である、しかし其間、今二十五日の小名濱

質屋條例設定

二十七日 平市會

平市會は二十七日午後一時、左記諸件を附議する。△公益質屋條例設定(さき)

着かどつた支那娘が

日支親善の珍舞踊

高橋三郎君(通)

我が部隊は河(老人)シヨハイ(子供の衣箱所まで晝夜、夜は十里の道を歩かされて居る。支那人の死體の横はつて色々に飾り宣撫班(日本人)代前の孔子様も地下に涙

祝杯高らかに

商港晴の擧式

小名濱

懸案の商港成つた祝杯があげられた。修殿、降神、献饗、齋主祝詞奏上、玉串奉奠、旗

祝小名濱商港完成

交通の短縮は近代文明の最も著しい傾向である。而して産業貿易に因る國力の伸張、民力の増進は彼我物資の出入集散が最短距離を以て

海雛鷺壯行會

來月一日横濱海兵團及び同航空隊に入る濱通りの「海雛鷺」は昨朝の如く三十一日午前七時二十八分

燈台レンズ破壊

一昨二十三日夕暮時一帯をでも多少の被害は蒙り今二四日午後四時迄に平市役所、物産物庫の破壊等と

市中より

山田茂一郎君 所變り品、大に對する見に如かず、大陸に對する

車中より

平市大町出身 山田茂一郎君 所變り品、大に對する見に如かず、大陸に對する

地震被害漸次判明

一昨二十三日夕暮時一帯をでも多少の被害は蒙り今二四日午後四時迄に平市役所、物産物庫の破壊等と

海雛鷺壯行會

來月一日横濱海兵團及び同航空隊に入る濱通りの「海雛鷺」は昨朝の如く三十一日午前七時二十八分

燈台レンズ破壊

一昨二十三日夕暮時一帯をでも多少の被害は蒙り今二四日午後四時迄に平市役所、物産物庫の破壊等と

市中より

山田茂一郎君 所變り品、大に對する見に如かず、大陸に對する

車中より

平市大町出身 山田茂一郎君 所變り品、大に對する見に如かず、大陸に對する

地震被害漸次判明

一昨二十三日夕暮時一帯をでも多少の被害は蒙り今二四日午後四時迄に平市役所、物産物庫の破壊等と

海雛鷺壯行會

來月一日横濱海兵團及び同航空隊に入る濱通りの「海雛鷺」は昨朝の如く三十一日午前七時二十八分

燈台レンズ破壊

一昨二十三日夕暮時一帯をでも多少の被害は蒙り今二四日午後四時迄に平市役所、物産物庫の破壊等と

高柳醫院 電話三三六番

高久病院 院長 高久忠 電話五一三番

北川外科 電話四六四

大和田醫院 電話一七〇番

木村外科醫院 六丁目

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

おてん 電話二六三番

高鳴屋の洋服 男女學生服特賣

通勤女店員募集 高等小學卒業程度

華公生 効力本位

重田眼科 診療開始(十日ヨリ)

重田眼科 眼鏡一般 醫師 重田景治

重田眼科 眼鏡一般 醫師 重田景治